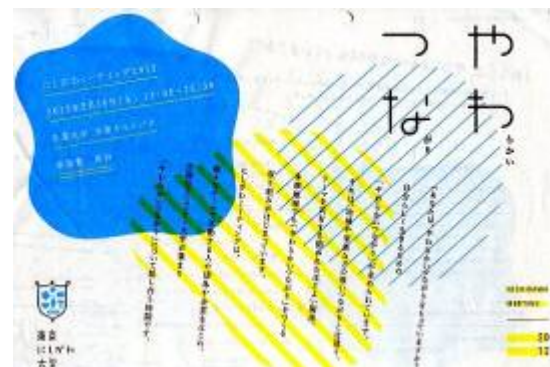


事業名	たま授業プロジェクト～地元企業等とのコラボレーション教室
団体名	東京にしがわ大学
事業の目的	地域で行う授業を通じて、参加した市民らが地域独自の資源、文化、歴史、特徴などを再発見する。 その結果、地域への関心や愛着が生まれ、地域活性化を考え、まちづくりに取り組むきっかけ作りを支援する。また、授業という集いの場ができることにより、人と人との関係を深め、多様な世代と幅広い地域の人たちとの垣根を超えた交流の場を作る。
主な事業実施内容	5月11日:【コラボレーション授業】ミツバチのくらしと地域の活性化 協力:多摩ミツバチプロジェクト 7月9日:【コラボレーション授業】作って、演じて、大人の夜の紙芝居シアター 協力:たま会、クロスガーデン多摩、ニューシティ多摩センター、有限会社イーレント 2月18日:【シンポジウム】にしがわミーティング 2012～あなたはやわらかいつながりを持っていますか～ 協力:多摩大学
参加者	イベント参加者:5月29名、7月24名、2月180名の合計250名(スタッフ参加者を除く) 協力者(団体):多摩ミツバチプロジェクト、たまの会、多摩大学。他、多摩地域内の企業および団体他、全国のコミュニティ大学
事業の成果	開催したコラボレーション授業では、小学生から60代まで3世代が参加した授業もあり、団体と協働して授業ができたことで、これまでの授業と比べて参加人数が多く、かつ参加者層を広げ、特色ある授業を開催できた。開校して2年目を迎え、現在、学生数は2,000名を超えた。 また、2月のシンポジウムでは、学生が地元企業にヒアリングに行き、「できること」「面白いこと」などを探り、発表するとともに、近隣他市からも総勢約200名ほどが会場に集い、「つながり」について意見交換を行った。将来のまちづくりを担う学生たちが、地域で学び、地域のことを考えるきっかけづくりをし、その結果を参加者と共有する場をつくることができたことは、今後の当団体の活動において、とても意義ある取り組みができたと思っている。

総事業費	344,568 円
補助対象経費	340,558 円
補助額	272,000 円



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることができましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	多摩市内での継続的な授業の開催を希望される声が多くあった。(イベントでのつながりを維持し、発展していく仕組みやきっかけが欲しい)
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	企業や団体、大学等多様なアクターが連携して面白い取り組みを実施できた。2012年2月に開催した「にしがわミーティング2012」は、今回の事業の集大成といえるものであり、初めての試みだった。イベント開催を通じて、たま市民のほか近隣他市に住む人たちが集い、つながるきっかけ作りができたと思う。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	各イベントは1回のみであるため、今後、つながりを維持し、活動などへ発展させていくための新たな仕組みや機会を作ることが必要である。より多くの人に地元地域のことや当団体の取り組みを広く周知し、地域活動の一步を踏み出すきっかけ作りのためには、他の団体との協働をはじめとして、当団体自身が地域メディアとして役割をより積極的に担うべきである。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
参加費	15,000 円	ミツバチプロジェクトコロボ授業参加費
自己資金(負担)	53,558 円	
夢たま補助金	272,000 円	
収入合計	340,558 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師謝礼	95,000 円	シンポジウム出演者(10名)謝礼
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	109,888 円	文房具、模造紙等消耗品、授業資料、ちらし・ポスター・パネル印刷費、
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	39,830 円	シンポジウムデザイン費一式
機器類の賃借(レンタル)料等	73,500 円	プロジェクター
イベントなどの会場等の使用料	15,000 円	ディスカッション用カフェ会場使用料
保険料等	3,900 円	ボランティア保険
その他必要な経費	3,440 円	画材・シンポジウムチラシ配送費、振込手数料
補助対象経費合計	340,558 円	

事業名	住民が作る安全なまちプロジェクト
団体名	NPO夢のマネージメント社
事業の目的	住民による防犯活動 振り込め詐欺の事例を聞き取り調査し、これを元に防犯寸劇のシナリオを作成しシナリオ朗読と動画を編集してインターネットで公開して、広く防犯の周知を図る。 地域の高齢者たちの間に寸劇の朗読を通して顔の見える仲間の関係を築き新しいまちをつくる。また、振り込め詐欺は中国朝鮮台湾日本など犯罪者は国境を越えて国際的に活動しているので英文サイトを作り各国に市民による防犯活動を呼びかける。
主な事業実施内容	4.30:シナリオ朗読録音 5.10:デジタル音声録音編集 6.25:インターネット公開用動画編集 10.1:シナリオ朗読録音(2件) 10.25:デジタル音声録音編集 10.30:インターネット公開動画編集 11.19:シナリオ朗読録音 1.10:デジタル音声録音編集 1.30:インターネット公開動画編集 3.5:シナリオ英文翻訳
参加者	シナリオ作成3名、シナリオ英訳2名、動画作成66名(朗読60名、絵画作成2名、動画映像編集4名)、寸劇公演50名、観客100名
事業の成果	事例聞き取り調査件数は30件、シナリオ作成編数は20編、シナリオインターネット公開件数は14件。まだ犯罪事例は発生しているので、調査とシナリオ作成とHP公開をしてゆく。 公演の出演団体は4団体だったが、24年度からトムハウスカラオケグループ12団体が参加する。公演者に国立劇場に出演している人がいるなど専門家が加わり公演の質が向上している。 動画のインターネット公開は好評で、NTTOB会など全国ネットで周知されている。今後更に全国的な周知と、国際的なルートでの英文シナリオの周知を図っていく。 また、この中で子供のメール犯罪に事例があったが、新たにユネスコのESDプログラムとして教育委員会・学校と協働で子供の防犯民話シナリオの作成プログラムを実施する。 防犯寸劇の動画をCDにして行政機関などに全国的に配布してゆくことにしている。 カラオケ活動とリンクしていくことで、世界でも人気のカラオケ文化をとおして国際的なつながりを進めていく。

総事業費	670,000 円
補助対象経費	300,000 円
補助額	180,000 円



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	シナリオ面白いので良くわかった。犯罪者から電話がかかってきたときにどうなってしまうのかわかった。訪販寸劇をやってみると楽しい。 中国人の感想:中国では政府が市民を監視しているので市民による防犯活動は難しい
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	多摩市は犯罪被害が多いので被害を防ぐ目的で実施してきたが、寸劇の朗読仲間が顔の見える仲間ができてまちづくりの活動になってきた。特にカラオケグループ12団体(200人)と連携することになったので朗読者の層が増えた。日本各地で防犯寸劇公演が行われているが、インターネットで多くのシナリオが公開されている事例はない。今後新たな展開を企画してゆく。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	防犯活動は、世界の民話に多く見られるが新しいインターネットの時代ネットで公開し世界の人々と情報を交換してゆく。シナリオが増えると情報量が多くなるので、書籍にして出版することも計画したい。 カラオケは日本文化から世界の文化になっており、カラオケ活動と協働すると、南米韓国中国などとも交流ができるので、活動の和を世界に広げていく。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
自己資金(負担)	120,000円	
夢たま補助金	180,000円	
収入合計	300,000円	

<支出の部>

人件費	0円	
謝礼	120,000円	寸劇朗読者出演者謝礼
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	0円	
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	180,000円	シナリオ英訳、デジタル録音音声編集、ネット公開用動画編集
機器類の賃借(レンタル)料等	0円	
イベントなどの会場等の使用料	0円	
保険料等	0円	
その他必要な経費	0円	
補助対象経費合計	300,000円	

事業名	多摩に舞い降りた天女たち
団体名	和創千華
事業の目的	多摩市を中心とする和文化のイベント活動を通し、若い方への伝承と育成、チームの結成と市内外の文化交流を図ります。
主な事業実施内容	3月:メンバー募集とレッスン 8月:リハーサル 9月17日:～多摩に舞い降りた天女たち～邦楽舞公演 10月:(録画)レッスン 2月:(リハーサル)レッスン 3月:映像作製(ネット講座)編集進行中
参加者	団体 15 人、来場者 158 人
事業の成果	昨年の公演をご覧いただき、メンバーに参加して下さった 10 代の女子をはじめ、和文化の伝承を目指す若き人材の発掘・育成に貢献することができたと思います。パルテノン多摩の文化事業に参加したことにより多くのご来場者にご覧いただくことができました。

総事業費	506,455 円
補助対象経費	451,646 円
補助額	270,000 円



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた(さくら祭りについては、震災により中止となりました。)
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	伝統文化のイベントに、関心を持ってくださっている方は、たくさんいると実感しました。それだけに、高いレベルのエンターテインメント性が求められることも感じました。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	中学生の方が参加してくださったことで、若い方に伝統文化への興味をいただけてくれたことは、とても意義のあることと思っております。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	大学や学校へダイレクトに参加の募集をかけることが出来るとよかったですと思います。ネット講座の編集を急務とし、資金の確保を行う予定です。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
協賛金	50,000 円	レッスンモール
寄附金	50,000 円	後援会(和創千華)
自己資金(負担)	81,646 円	
夢たま補助金	270,000 円	
収入合計	451,646 円	

<支出の部>

人件費	20,210 円	受付・設営
謝礼	50,000 円	琴奏者・太鼓演出指導他
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	66,306 円	ポスターチラシ印刷、ディスク・ビデオテープ、文房具、小道具作成
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	74,970 円	設営・音響
機器類の賃借(レンタル)料等	48,470 円	パソコン使用・太鼓レンタル・スモークマシーンレンタル
イベントなどの会場等の使用料	82,031 円	レッスン室・リハーサル・録画用ホール使用
保険料等	49,660 円	郵送料、琴・太鼓運搬料
その他必要な経費	59,999 円	衣装制作材料、仕立て、クリーニング
補助対象経費合計	451,646 円	



事業名	t a m a R O C K v o l . 6
団体名	t a m a R O C K 実行委員会
事業の目的	野外遊び離れをしている子どもたちに、野外活動を通じて「自然の中でこんなことができるんだ!」といった驚きや喜びを体感してもらう。子どもたちが多摩川で体を動かし、作ることを楽しみ、野外で音楽を聴き、子どもだけでなく親子で遊ぶという共通体験をつくり、親子の信頼関係を深め地域のボランティア団体、NPO 団体との協働により、各団体のPRが地域活性につながる。地域活性とともに、地球にやさしい生活スタイルをするための気づきの場を提供することを目的とする。
主な事業実施内容	3月24日:ステージ設営など 3月25日:Tama ROCK VOL. 6
参加者	参加団体:アーティスト6組、フリーマーケットブース19組、フードブース4台、陶芸教室などレクリエーション6ブース 来場者:約1,500名
事業の成果	2011年の「tamaROCK」は企業の行うイベントとは違い、実行委員会がリーダーシップを発揮しながら地域住民、地域団体が参加していくという型の運営スタイルに力を入れてきました。環境教育や子育て支援については実行委員と講師が連携し、息の長いまちづくり運動を先導しました。  TamaROCKは設立当初より営利を目的にせず、地域の発展、貢献を目的にしているため、地域のボランティア団体・NPO団体との協働により、市民自らが新しい公共を担うという多摩の人づくりに関する気づきが生まれ始めました。  今年は会場を多摩中央公園に移したこともあり、多摩川沿いのみならず広くニュータウン地域よりお客さんに集まってもらうことができました。  子どもたちがいても楽しめる野外フェスティバルが、地域に根付いてきたと考えます。

総事業費	1,942,500 円
補助対象経費	1,933,600 円
補助額	675,000 円



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	エコ・レク・ライブを事業の柱にすえているが、子育て世代にとっては中でも、レクリエーションへの強いニーズがあると感じた。アーティスト部門で更なる奮起をし、ステージで保護者世代を引き付けておくことができれば家族が一日楽しめる事業へと昇華するであろう。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	昨年までの河川敷開催と異なり、多摩ニュータウンの中心ともいえる tama 中央公園で開催したため、優れて市民の目に留まるイベントになった。イベントコンテンツについてはおおむね好評だったが、雨天順延開催のため当日来場アーティストが大幅に減ってしまったのは残念であった。物販も当日気温が上がらなかったせいか、ドリンクフーズ売り上げが予想を下回ったが、そのほかは順調に推移した。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	来場してTamaROCKの空間を楽しんでもらうことは出来たが、エコロジー意識(今回は太陽光発電ブースを設置した)や多摩ニュータウンの魅力を伝えるという次のステージを強く働きかけていきたい。 昨年までの協賛体制と比較すると、東日本大震災の影響もあり今年は協賛各社が伸び悩んだ。息の長い協賛を頂戴するためにも、事業報告にくわえていっそうのサンプリング体制など営業努力を重ねなければならない。

補助対象経費の決算内訳  
<収入の部>

項目	金額	内容
フードブース出店料	231,500 円	4ブース
レクリエーション売り上げ	91,500 円	フェイスペイント、遊ぼうパンなど
多摩交流センター補助金	500,000 円	市町村自治調査会、多摩交流センター
ドリンクブース売り上げ	193,700 円	ビール、ワイン、ソフトドリンクなど
民間企業協賛	170,000 円	
フリーマーケット売上げ	40,800 円	フリーマーケット設営ブース代
自己資金(負担)	31,100 円	
夢たま補助金	675,000 円	
収入合計	1,933,600 円	

<支出の部>

人件費	292,500 円	
謝礼	225,000 円	レクリエーション講師、アーティスト出演料等
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	566,220 円	チラシ・ポスター印刷、コピー、消耗品、タイプ構築資材、サブステージ材料費、
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	420,000 円	ステージ・サブステージ組み立て、ステージ撤去
機器類の賃借(レンタル)料等	174,761 円	発電機、コンパネ、投光機リース
イベントなどの会場等の使用料	4,800 円	会議費
保険料等	20,500 円	レクリエーション保険
その他必要な経費	229,819 円	仕入れ経費、レクリエーション準備経費
補助対象経費合計	1,933,600 円	



事業名	人間ばん馬の町・置戸～自然環境と都市生活を体験する交流事業
団体名	永山地区・置戸町の交流を進める会
事業の目的	永山地区と置戸町の子供たちが隔年ごとに夫々の街を訪れ、ホームステイをしながら、親元を離れての生活・世代を超えた多くの人たちとの交流により、子供たちの自主性・協調性を養うと共に、自然環境や生活スタイルが大きく異なる大都市東京の生活や、様々な体験を通じて意識の高揚を促すことを目的とする。
主な事業実施内容	7月26日:置戸町小学5～6年生出迎え、都内見学後、多摩市表敬訪問、歓迎交流会 7月28日;自然体験、富士山5合目、河口湖等 7月29日:多摩市内視察 多摩動物園見学 さよならピザパーティ 7月30日;都内見学 7月31日:ディズニーランド(置戸町事業) 8月1日:送別
参加者	置戸町の子供たち14名 引率者2名 永山地区の子供たち延べ140名との交流ができた。
事業の成果	置戸町の子供たちが大都会東京・多摩市永山地区の子供たちと、親元を離れたホームステイにより、子供同士の交流・都会の生活実態・富士山や多摩動物園での体験など、北海道置戸町では出来ない体験は子供たちの自主性・協調性を養うことができたと思慮する。 平成24年は多摩市の子供たちが、置戸町的生活環境(林業・農業)を体験する。

総事業費	193,678円
補助対象経費	193,678円
補助額	96,000円

## ふるさと交流事業 2011 東京体験ツアー in 多摩市永山 報告書

2011.7.26～8.1 6泊7日



-2-

<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることができましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	本事業は地域の協力なくして成り立たない。 特に持続性を望まれている。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	本年度は震災等により開催が危ぶまれたが、永山地域の絶大なる協力により双方の子供たちに、貴重な体験を経験することができた。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	交流事業は20年を経過した。今後とも当該事業を進めるには、資金の関係にて苦慮するものと思われる。 自立に向け資金確保などに地域の協力を仰ぎ、継続性のある事業として進めていきたい。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
自己資金(負担)	97,678 円	
夢たま補助金	96,000 円	
収入合計	193,678 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
謝礼	0 円	
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	52,938 円	報告書、歓送迎会経費
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用		
機器類の賃借(レンタル)料等	132,420 円	バス借り上げ料
イベントなどの会場等の使用料	8,320 円	集会所使用料
保険料等		
その他必要な経費		
補助対象経費合計	193,678 円	

事業名	多摩の古街道“歴史時代再現まつり&フットパスウォーク”
団体名	歴史古街道団
事業の目的	国内有数の遺跡地帯で知られる多摩の歴史的価値を見出し、貴重な歴史古道や郷土の歴史を活かし、新たな歴史観光の芽と市民の意識の向上を図る。近年急速に全国に広がり始めた「フットパス方式」による観光を目指し、まちづくりコーディネーターや歴史ガイドを育て、新たな観光や雇用の創出にもつなげることで、新旧住民のふるさと意識の向上や市民文化交流が大いに期待される。また、健康的な古道フットパスウォークは対外的にもアピールできる、多摩市ならではの観光まちづくりの新たな手法として、今後の財産となりうる。
主な事業実施内容	4月23日:講演とミニウォーク「鎌倉街道」 5月29日:講演「源頼朝と北条政子」 6月5日:鎌倉街道を歩く-ガイドウォーク 6月21日:鎌倉街道を歩く-ガイドウォーク 7月23日:峰岸純夫氏講演「東国中世史の中の鎌倉街道」 8月27日:小野一之氏講演「鎌倉街道の歴史と文学」 9月23日;多賀譲治氏講演「鎌倉街道と鎌倉武士の時代」 9月30日:倉街道を歩く-ガイドウォーク 10月30日:鎌倉街道“関戸・霞ノ関”まつり 2月29日:講演「平山季重伝説と小山田一族」 3月12日:講演「鎌倉街道早ノ道とは？」
参加者	参加者総数は、延べ663人(うち多摩市民は284人)であった。とりわけ、10月30日の“まつり”の参加者は総数163人で、多摩市民85人と過半数の参加です。
事業の成果	本事業の遂行にあたって、広報活動に関する多摩市市民活動情報センターから多大な協力を得ましたことは、まず最初にお礼申し上げます。広報への掲載、公民館等へのチラシ配布、ポスター掲示の効果が大きかったです。 当初計画では、参加者数を全体で500人弱と想定していましたが、予想を3割以上上回る660人強の参加を得て、多摩市民の方々にも280人以上参加いただきました。 地元になじみのある鎌倉街道と鎌倉時代に焦点を当てた「誰でも少額の負担で参加できるウォークと講演会・学習会」を実施しました。参加された方々が歴史を知る・再確認する景気となる活動ができたと思います。

総事業費	1,200,353円
補助対象経費	710,981円
補助額	400,000円



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	「この地域に鎌倉時代から人々の活動の記録がある、歴史のある地域であることを初めて知り、とても有意義でした」との声が多く寄せられました。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初5年間の予定で計画を立てたが、諸般の事情で今年度で打ち切りは、誠に残念です。視補助事業とは別の形で継続したい。</li> <li>・市民の方々に地域の歴史を知る契機となったと思います。</li> <li>・まつり直前に予定会場が利用不可となり、周知できずご迷惑をおかけいたしました。</li> </ul>
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の歴史に対する関心はますます高まり、当団の活動を継続。</li> <li>・当初計画していた歴史散策用マップの試作と試験販売を時間切れで断念したが、今後、自前でやり遂げたい。</li> <li>・イベントの準備に追われ、事前にイベントの想定レビューを行って、重要事項のチェックをする等が今後必要と考えています。</li> </ul>

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
まつり参加費	52,000 円	10月30日鎌倉街道"関戸・霞ノ関"まつり
学習会・講演会参加費	179,400 円	
ガイドウォーク参加費	63,500 円	
販売収入	5,740 円	10月30日甘酒、トン汁
寄附金	10,000 円	
自己資金(負担)	341 円	
夢たま補助金	400,000 円	
収入合計	710,981 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
謝礼	103,000 円	祭り出演謝金、講演会等講師謝金
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	89,001 円	チラシ・ポスター広報物等印刷費、消耗品費
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	106,500 円	ヘアメイク着付け費、案内板制作費、DVD変換代
機器類の賃借(レンタル)料等	370,650 円	武具・武器及び時代衣装賃借料
イベントなどの会場等の使用料	6,100 円	講演会会場・まつり準備会場使用料
保険料等	15,300 円	障害保険料
その他必要な経費	20,430 円	タウン紙広告、車両賃借、写真プリント等
補助対象経費合計	710,981 円	

事業名	貝取こぶし館と周辺の美化と癒しの環境づくり
団体名	貝取こぶし館緑花委員会
事業の目的	貝取こぶし館内外の環境美化を進め、利用者および地域住民の四季折々の安らぎの場となること
主な事業実施内容	4月17日～平成24年3月31日:緑花委員会 通常第2日曜日 多忙期 第4水曜日を追加
参加者	各回10人
事業の成果	花壇も整い、きれいな花を咲かせることができ、皆さんに喜んでいただきました。特に皇帝ダリアが咲き、ラベンダーが元気になってきました。四季の花を切らさないよう努めました。

総事業費	147,089円
補助対象経費	112,089円
補助額	61,000円





<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	皇帝ダリアの花が咲き、皆さんに喜んでいただきました。花壇は特にきれいになったといっている。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	緑花委員会の人が暑い夏、寒い冬も花の気持ちになって頑張っていた。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	こぶし館の行事に合わせて苗などを作り、販売を考えている。種から苗を作り経費を安く上げるようにする。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
銀行利息	9円	
自己資金(負担)	51,080円	
夢たま補助金	61,000円	
収入合計	112,089円	

<支出の部>

人件費	0円	
謝礼	0円	
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	112,089円	材料、消耗品等
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用		
機器類の賃借(レンタル)料等		
イベントなどの会場等の使用料		
保険料等		
その他必要な経費		
補助対象経費合計	112,089円	